

タットン会 通信

2010.
1. 23

タットン会ホームページ [タットン会](#) と入力すると検索でき、会の趣旨や開催日時などが確認できます。また、「ボランティアセンター 046 (825) 0017」で、日程を確認することも出来ます。

※ 活動中などの写真掲載等をご遠慮なさる方は、事務局員にお申し出ください！(事務局は青バッチです)
(12月の参加費は6,600円 寄付金は1,000円 計7,600円でした。ありがとうございました)

本年も、よろしく御願い致します！

今年の賀状にタットン会での手話「世界中の子どもたちが」の場面を印刷し、より多くの子どもたちやチャレンジャーの活躍を祈りました。

今年度で8年目を迎えたタットン会も、今日を除くと2月27日・3月27日の二回となりました。8年間も続けてこられたのは、実に多くの方々のご協力があったからこそです。皆様のたくさんの笑顔や保護者・ボランティアさんの指導方法についての助言など、多くのことを学ぶことが出来ました。



8年前のスタート当初、チャレンジャーさんの保護者が自分のお子さんをそっちのけで、他のチャレンジャーさんを相手に楽しんでいる場面に出会い非常に感動していました。

また、台風による崖崩れでバスがストップしてしまった(2003年)にも関わらず、上の台中学(6年間は上の台中学がベースでした)まで浦賀駅から歩いて参加して下さったボランティアさんには本当に驚かされました。



タットン大会(200年度最後の年 第三回)では、卓球の部でチャレンジャーさん同士がペアとなり、なんと連続851回(往復で1回と数える)の大記録を出した仲間がいたのにもビックリでした！

2006年度からは県立保健福祉大学HSCクラブに所属する学生さんが大学の体育館を少しずつ借りてくださり、そのおかげで2008年度からはタットン会が県立大学をベースに運営できるようになりました。遠く厚木や小田原から早朝に家を出て体育館の鍵を開けに来てくれている学生さん達には本当に助けられています。

今年(2010年度)5月からの9年目タットン会が、どのように活動できるのか…は、残念ながら未定です。今夜、今年度の反省と9年目に向けた話し合いを行います。今までのように県大の体育館が借りられるのかどうか?も、**大きな課題**なのです。

さて、昨年12月19日の85回目タットン会—

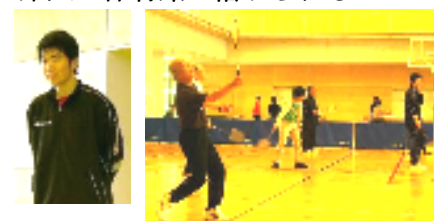
チーフ平野さんの進行で、今回の参加者はチャレンジャーさんが22名でしたが、ボランティアさんも少なく相変わらず余裕のない状況でした。卓球の部の参加者は少なかったのですが、バドミントンコートは1つのコートに6人でのプレイ。危険の無いように工夫をしていくにしても、毎回参加メンバーが変わってしまうので短い時間での対応は難しかったです。

また、けん玉協会の伊東さんの参加により休憩時間にはけん玉を楽しむことができ、メンバーの「膝を上手く使った」上達ぶりも伺えました。

遠く茅ヶ崎から養護学校の先生が初参加して下さり、コメントもいただきましたのでご紹介致します。

学校を卒業した方々がスポーツをする機会や場所は本当に少なく、タットン会のような場所は貴重だと思います。障害者に限らず、総合型地域スポーツクラブのようなものができていけば、指導者不足でやりたいスポーツができない子どもたちも満足できるのかなあ～なんてことも思いました。運営するのは本当に大変だと思いますが、今回のような形で少しでも協力できる機会があれば、また参加させていただきたいと思います。

竹永和久



「卒業を控えた県大4年生からの 心あたまるメール」～

後を継いでくれる県大生の確保は、もちろんタットン会の大きな課題であると同時に、卒業していく私たち4年生がタットン会のためにできること、残せることでも思っています。(もちろん卒業した後もタットン会には参加したいですが、体育館予約などは学生しかできませんから…)

学内でも呼びかけを行っているのですが、なかなか集まらないのが現状で、悩みは尽きません…。

そもそも、なぜ自分はこんなにタットン会に夢中になれたのか？を考えてみると、それはやっぱり「楽しいから」なんですよね！

一年生のときの、いちばん最初のきっかけは「スポーツが好きだから」、「『ボランティア』に興味があるから」というようなことだったと思いますが、2回目に行ったときは、1回目にペアになったチャレンジャーさんが自分のことを覚えていてくれる。回数を重ねる度に、自分のことを覚えていてくれる人が増え、自分と会えることを喜んでくれる人がいる。これは、私にとってもとても嬉しくて、励まされて、心が満たされることなのですね。

そのようなことも全部含めて「楽しい」と思えるタットン会が、「体育館の確保」が困難なために危うい状況にあるのは、とても心苦しいです。

たくさんの人にタットン会の素晴らしさを知ってもらうためにも、まずは、「県立大学でのタットン会」を継続させてみませんか？県大の後輩たちの協力を期待しています！

県立保健福祉大学4年 阿部南美

感想・参加者カード・気がついたこと!!! チャレンジャーさん22名参加

- ※1 ラリーをしました。初めて一緒にやらせていただいたので、お互い様子を伺っているようでした(笑)。後半は、打つときに声が出てきて打球が力強くなっていくのを感じました。続けることが楽しいのか？強く打つことが楽しいのか？相手のことをもっと知れたら、もっと楽しく出来たのかな！？(T様)
- ※2 続ける練習をしました。20回が目標、初めはなかなか調子が出ませんでした。後半調子が出て20回達成、30回も達成!!目標の回数近くで、やはり意識してしまうのでしょうか!おいしいところでダメになったりしました。根気強く頑張っています。31回出来ました!!(H様)
- ※3 今月もタットン会でいい汗をかけました。I君のおかげです…フォアの突つきに自分の弱点を見つけたようです。次回はもっと強くなっていることでしょうか!(N様)
- ※4 ノックをやりました。その後、実際にラリーを行ったところ10回以上続いて37回が最高でした。予定を少し気にしていたようでした。あらかじめ伝えていた方が、安心するようです。(A様)
- ※5 ノックとラリーを交互にやりました。ネット前の球をすごく上手に返していました。途中からペアを変えてやりました。…フォームがとてもカッコイイですね!ラリーになると当たらなくなってしまうので、よく見て打るといいですね!(I様)

余暇活動

パート 43

私は、今回タットン会に初めて参加をしました!

朝の8時30分、卓球台の準備や道具を運んだり、どんな人達が来るんだろうと想像を膨らませながら、少しの眠気がまじる中準備をしていました。

実際に会が始まると、ペアを組んで相手の方と一緒に、自分のペースでコツコツと楽しく卓球をすることができました。上手な人から初めての方まで、いろいろな人がいるので自分の力に合わせてこの会に参加することができました。何より、「この次も参加してみたい!」と思えたのがこのタットン会の一番の魅力だなと感じました。

県立保健福祉大学3年 長瀬 亮



《 今日 1月23日の時程 》

- 9:30 ペアになってカード確認・体操、各種目へ
- 10:20 休憩
- 10:35 後半競技～(試合又は継続回数に挑戦)
- 11:05 パラシュート・片づけ・モップ、感想カード記入(手話コーナー)・けがの確認・感想…
- 11:40頃 解散



《 次回 2009年度の予定 》

87回目 2/27

88回目 3/27 (タットン大会)

いずれも、県立保健福祉大学です!



本日の担当者

チーフ・セッティングチェッカー: 青木康裕

継続・新規受付・説明: 県大生・事務局

全てのサポート: 県立大学学生・事務局メンバー

文責 佐藤一雄